

KIKAIYA
TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

ドラム缶用ヒーター デジタルメーター付き

250×1740mm 200／2000W

取扱説明書

【品番】DRH-3-D

この度は「ドラム缶用ヒーター デジタルメーター付き(DRH-3-D)」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

* 本書は大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒729-0112 広島県福山市神村町字仁五下 4757-1

(M A I L) info@kikaiya.com




■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 継続的な製品改良のため、本書記載の内容は予告なく変更される場合があります。
お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、
弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本書に記載されている警告や注意事項は、起こりうるすべての条件や状況を
網羅しているわけではありません。製品を安全に組立て・使用し、人身事故や物的損害を
未然に防止する責任は製品の取扱者にあります。十分にご注意のうえ、作業を行ってください。

■安全に関する表示について

 危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
 警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
 注意	誤った方法で使用すると『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

■製品使用上のご注意

警告

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- コンセントプラグが付属していないため、一般家庭のコンセントではご使用いただけません。
- 電気配線を正しく行ってください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- お子様の手が触れない場所で使用・保管してください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。

注意

- ご使用にならない際は電源を切断してください。
- 使用中はヒーター、ドラム缶の表面が熱くなりますので、火傷にはご注意ください。
- 空焼き状態を防ぐため、ヒーターはドラム缶に密着させてご使用ください。
- 製品に付着した埃などのゴミは、火災の原因となりますので綺麗にしてからご使用ください。
- 断線に繋がるため、電源コードは引っ張らないでください。
- 製品を裁断したり、穴を開けたりしないでください。
- 製品は防水仕様ではありません。水気のある環境で使用したり保管したりはしないでください。

■製品仕様

重 量	1.4kg
サ イ ズ	幅 250×長さ 1740mm(厚み:約 1.5mm)
本 体 材 質	シリコンラバー
温 度 セ ン サ ー	NTC サーミスタ(2M)
適 応 ド ラ ム 缶	200Lドラム缶(直径 約 580mm)
使 用 環 境	温度/-10~60°C 相対湿度/20~90%(非凝縮)
電 源	単相 200V(消費電力:2000W)
定格電圧(使用電圧)	AC 200V
電 流	10A
ディスプレイ表示 温 度 範 囲	-20~300°C(精度±1°C)
制 御 温 度 範 囲	-20~280°C
実 作 業 温 度 範 囲	スチールドラム缶/-20~115°C ポリドラム缶/-20~40°C
連 続 使 用 時 間	8 時間以内
機 能	・センサー温度設定 ・温度応差設定 ・ヒーター作動開始遅延時間設定 ・センサー温度表示の調整

※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

■製品説明

- 温度が低く、粘度の低下したドラム缶内のオイルなどを温めるバンドヒーターです。
- デジタルメーター付きなので現在のセンサー温度、設定温度が視覚的に分かりやすくなっています。
- センサー温度、温度応差、ヒーター作動開始遅延時間 等、使用条件に合わせた設定が可能。
- 電源は単相 200V、消費電力 2000W のハイパワータイプ。
- 200L のドラム缶(直径約 580mm)の外側に巻き付けて使用します。
- 軽量+巻き付けも簡単なので一人で脱着可能。

※ディスプレイに表示されるのはヒーターのセンサー温度です。
ドラム缶内容物の温度は表示されません。

■ デジタルメーターの表示について

表示	機能	設定範囲	初期設定値
E1	センサー温度の下限設定	-20℃～E2 の値	30℃
E2	センサー温度の上限設定	E1 の値～280℃	150℃
E3	温度応差 ^{※1}	1～100℃	2℃
E4	ヒーター作動開始 遅延時間	0～10 分	0 分
E5	センサー温度表示の調節 ^{※2}	-50～50℃	0℃

※¹ 応差(ヒステリシス)。センサーが ON になる温度と OFF になる温度の差。

※² 実際のセンサー温度から(E5)で設定した値分の差でセンサー温度を表示します。

<例>実際のセンサー温度:30℃/E5 設定値:-5℃ → 表示温度:25℃

◆ 加熱指示ランプ



加熱指示ランプ

【点灯】…加熱中。

【消灯】…加熱停止。

【点滅】…加熱の遅延開始待ち。

(E4)分間点滅し、その後加熱します。

■ 動作原理

- 電源に接続すると現在のセンサー温度がデジタルメーターに表示されます。

温度	動作
センサー温度 < (設定温度 - 温度応差/E3)	(E4)分後にヒーター作動開始
センサー温度 ≥ 設定温度	ヒーター停止

- 加熱遅延開始は『E4』の値によって決定します。

設定	動作
E4 = 0 分	遅延なしで即時にヒーター作動開始
E4 > 0 分	ヒーターが作動開始するまでに(E4)分かかかる

- センサー異常・温度異常表示

デジタルメーターに異常が表示された後、ヒーターはオフになります。

異常内容	表示
センサーが短絡、過熱(300℃以上)	HH
センサーの断線、温度が低すぎる(-20℃以下)	LL

■ 操作説明

- ※ 操作モードの切り替えをする際、[▲]または[▼]ボタンを1秒以内に連続で押してください。この際にボタンを押してもディスプレイ表示は切り替わりません。『ピッ』という音がするので、音を聞いてボタンがきちんと押せているか確認してください。
- ※ 次にボタンを押すまでに時間が空くと操作がロックされ、現在のセンサー温度の表示に戻ります。

1. センサー温度の設定

[set]ボタンを押して設定温度を表示する。

[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押してセンサー温度の設定をしてください。

温度設定の完了後、[set]ボタンを押すと現在のセンサー温度が表示されます。

2. 各設定値を確認する

[▲]ボタンを5回、[▼]ボタンを2回押す。

『E1』～『E5』の設定値が順番に表示されます。

『E5』まで表示された後、現在のセンサー温度が表示されます。

3. 各設定値を変更する

[▲]ボタンを5回、[▼]ボタンを3回押す。

設定値変更モードに入り、『E1』が表示されます。

◇[set]ボタンを押すと『E1/E2/E3/E4/E5』が順番に切り替わります。

◇設定を変更したい項目(E1～E5)を表示し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、値を変更します。

◇6秒以内に操作をしない場合、現在のセンサー温度が表示されます。

4. 各設定を初期設定値に戻す

[▲]ボタンを5回、[▼]ボタンを5回押す。

『E1』～『E5』の値が初期設定値に戻ります。

その後、現在のセンサー温度が表示されます。

※設定は電源から切断した後も維持されます。

▽実際の操作を動画でご確認いただけます

(YouTube) <https://youtu.be/E9V8P2T6ovM>

表示	機能
E1	センサー温度の下限設定
E2	センサー温度の上限設定
E3	温度応差
E4	ヒーター作動開始 遅延時間
E5	センサー温度表示の調節

■使用方法

1. ドラム缶の外側に巻き付ける。

ヒーターの両端についているフックに金具を引っ掛けて設置してください。

※空焼きを防ぐため、ヒーターはドラム缶に密着させてください。



2. 電源に接続する。

コンセントプラグが付属していないため、一般家庭のコンセントではご使用いただけません。ご使用いただくにはある程度の専門知識が必要です。

3. (P.6)操作説明を参考に、ヒーターの設定をする。

センサーが設定した温度になるまで加熱し、設定温度に達した場合は加熱が止まります。

また、設定温度から(E3)の設定値分、温度が下回ると再加熱します。

ヒーター作動開始遅延時間(E4)を【0以上】の値に設定している場合、(E4)の設定値分遅延して加熱が開始されます。

※使用場所の気温によっては、設定温度までセンサー温度が上がらない場合もございます。

センサー温度は下記を目安に設定してください。

範囲外の温度に設定するとヒーターが故障する恐れがあります。

スチールドラム缶	-20～115℃
ポリドラム缶	-20～40℃

【連続使用時間】8時間以内

使用後 16 時間は使用を中止してください。

< POINT >

使用用途、目的によりヒーターを取り付ける位置を変えると、より効果的な成果を得ることができます。

●内容物を全体的(均一)に温めたい場合: 下部に取り付ける

●少量で良いので内容物を取り出したい、急いでいる、という場合: 中央部・上部に取り付ける 等

